

後援会だより

第49号

令和5年9月15日発行
中国学園大学 後援会
中国短期大学
会長 土谷 由美子
〒701-0197
岡山市北区庭瀬83番地
TEL (086) 293-1100
FAX (086) 293-3993



新たな歴史づくりの支援に向けて

後援会会長 土谷 由美子

いつまでも暑さが去りやらぬ毎日ですが会員の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

去る令和五年六月に開催されました中国学園大学・中国短期大学後援会総会において承認され、会長を再び拝命することになりました。土谷由美子でございます。新役員の方々、大学教職員の方々と共に微力ながら力を合わせ精いっぱい務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本会は、中国学園大学及び中国短期大学と会員相互との関係を一層緊密にし、協力して本学教育の振興を図ることを目的に組織されております。この会則のもと、会員の皆様に学園や学生生活の状況などをご理解いただき、学生の皆さんがより充実したキャンパスライフを過ごせるよう、様々な事業を展開しており、この支援活動にお預かりしました大切な後援会費を有効に活用していきたいと考えております。

約三年前からのコロナ禍により、後援会の様々な活動も制約を受け、会員の皆様にも不自由をおかけしてまいりましたが、新年度からはwithコロナ、afterコロナにおける活動で連携を図りながら、本格的な再開に向けて取り組んでまいりたいと存じます。一方で、コロナ禍を経たからこそ、新たな

活動スタイルへの検討も必要となりました。後援会活動に対する会員皆様のご意見、ご要望もすっかり受け止めて、より良い後援会活動を実現できるよう取り組んでまいりたいと思っております。

昨年度は中国学園が創立六十周年という節目を迎えた年となりました。

後援会記念事業として

- 一 学生・教職員への記念品の配布
- 二 各学部・学科の魅力発信動画の制作
- 三 地域清掃活動
- 四 創立六十周年記念シンポジウム
- 五 ホームカミングデーの充実
- 六 創立六十周年記念行事ソフトバレーボール大会
- 七 学内の環境整備

以上の事業に記念事業基金を寄付したことに對し、総会において学園より感謝状をいただきました。これもひとえに会員皆様のご協力があったからこそ実現できたものでございます。

そして、今後とも会員の皆様からの率直なご助言をいただきながら、これから未来に向けた学園の新たな歴史づくりを支援し、学生の皆さんが本学で学ぶことに喜びと誇りを持ち、有意義な学生生活を送っていただけるよう全力で応援していきたいと思えます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 第一回役員会

今年度第一回役員会が、六月二十四日(土)本学内で開かれ、総会への提出議題等が協議されました。提出議案は次のとおりです。

第一号議案 令和5年度役員を選任について

第二号議案 令和4年度事業報告及び決算について

第三号議案 令和5年度事業計画案及び予算案について

第四号議案 総会並びに各学科懇談会の開催について

左記のとおり今年度役員が選任されました。

災害対策助成事業について

講義中に災害発生したことを想定して、令和4年度より在学生全員に最低限必要な一日〜二日分の飲料水と食料等の防災備蓄品を設置しています。これは何もない卒業時に記念品として配付します。令和5年度新入学生分についても、後援会で支援しました。



帰宅困難者支援セット (3,510円)

令和5年度 中国学園大学・中国短期大学 後援会役員名簿

役職名	氏名	備考
会長	土谷 由美子	
副会長	田 渕 美 樹	国際4年
	横 上 美 香	総 生1年
常任委員	西 川 しのぶ	栄 養1年
	近 藤 典 子	栄 養2年
	松 尾 善 江	栄 養3年
	出 井 泰 子	栄 養4年
	花 本 和 子	子ども1年
	島 田 恵	子ども3年
	荒 田 真 一	子ども4年
	永 元 裕 子	国際2年
	古 米 久美子	国際3年
	田 邊 恭 子	総 生2年
中国短期大学	東 真由美	保 育1年
	松 永 鈴 美	保 育2年
	石 井 恵美子	情報1年
	遠 藤 政 男	情報2年
監査委員	鈴 木 晴 美	子ども2年
	上 野 祥 子	国際1年



継承と創生

学長 千葉 喬三

私の趣味の一つは、スクーバダイビングです。もう長いことやっています。潜っていて毎回思うことは、魚の種類の多さです。魚だけではなく、珊瑚や何かよく分からない生き物まで無数に棲息しています。陸上はもっと多様です。神様はどうしてこんな多種多様の生き物を作ったのか？今、地球にどの位生物（種）がいるのか？誰も分かりません。ある学者は数千万種と言っていますが、多分析が違うでしょう。

地球上で生物が発生したのは、四十億年前と考えられています。初めは一種かせいぜい数種が、途中、絶滅の危機を何度も乗り越え、今日の繁栄に至っています。生物種の存続と繁栄には対照的な二つの機構が関与しています。一つは、進化の過程で長時間かけて集積され保存された遺伝情報の確実な継承。他は、遺伝情報源上に生じる不測の変異に因る全く新しい形質の発現と定着。この遺伝情報源における安定継承と突発的変化という背反的な現象が生物種の多様性を演出しています。この機構をいち早く世に示したのがダーウィンの「進化論」です。

閑話休題。本稿の主題はAI。世の中どこもかしこもAIですが、ここで取り上げたいのは生成AI。その中でも音楽や絵画等の領域は関係する教育機関は限られるので、文章生成AIについて考え

てみたい。となると、人口に膾炙しているのは「ChatGPT」です。少しじっくりとみた感想は、既存の文章を巧妙につなぎ合わせて、日本語の文章にしています。質問をあまり逸らさず回答してきます。いつてみれば、優等生の答案が役所の文章。大きくずれない。しかしこれで全て。大手の企業などでは、すでにあちこちで使われており、概して好評だといえます。

確かに、形式的な文章作成作業は随分助かるでしょう。皮肉って言えば、日本社会はこの程度の文章レベルで動いているのか？巷間、生成AIの問題として取り上げられるのは著作権・意匠権侵害、情報漏洩などの法的な問題です。

しかし、知の府である大学ではさらに別の問題があります。AIは基本的に、新生や創造とは無縁だという根源的な問題を内包しています。これは高等教育機関においては致命的な欠陥です。

ここで、冒頭述べた生物進化に関わる絶妙な二つの機構を思い出してほしい。膨大な遺伝情報の継承に加えて、未知の形質の創生が新たな種を生み、生物を進化させた事実。知の世界も、過去の知識だけではなく、新たな知見の創生を加味すること無くして後世に残せる知性は生まれないのです。



大学・大学院

短大の

近況報告

大学

現代生活学部

学部長 多田 賢代

後援会の皆様には、日頃より本学部の教育に対しご支援を賜り、心より御礼申し上げます。令和五年四月二日入学式では、希望に満ち溢れた新入生四十三人、編入学生一人を迎えました。一年生前期には大学教育の導入科目「ファーストイヤーセミナー」もあり、大学生活に慣れて元気一杯頑張っています。二年生は栄養セミナーⅡの菜園活動において、今年度はコロナ禍前に戻り、収穫した野菜を用いた料理コンテストを開催することができました。同様に三年生の栄養セミナーⅢの地域連携活動も料理教室や公民館活動など、活発に取り組んでいます。四年生は、無事に臨地実習を終え、学生それぞれが実習の成果を報告することができました（写真）。十月の白鷺祭では、三年生の栄養セミナーⅢのゼミ活動による料理教室の開催、四年生の卒業研究発表会が予定されています。我々教員一同、教育と学生支援に尽力して参りますので、今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。



子ども学部

学部長 中 典子

子ども学部子ども学科では、学生が取得を希望する免許資格に応じて実習指導が受けられるようにカリキュラムを準備しています。四月に前期授業が始まり、六月中旬から七月中旬にかけての保育所実習、八月中旬から九月中旬にかけての学童保育実習、十月下旬から十一月下旬にかけての幼稚園教育実習及び小学校教育実習があります。また、年明けの二月中旬から下旬にかけての施設実習があります。学生は、自身が希望する免許資格に応じて必要な実習を選択して履修し、指導を受けます。



実習終了後は、実習報告会で各自の学びを振り返ります。その振り返りの時間には、実習中に学んだこと、感じたことを発表します。後輩に向けてのメッセージもあります。そこには、学生たちが実習で学びを深めていった成果があります。

子ども学部子ども学科での四年間の学びを経て、自分自身の希望する場所に就職してもらえたらと願っています。

国際教養学部

学部長 杉山 慎策

国際教養学部はグローバル時代に活躍できる人材の育成を目指し、開設九年目を迎え、卒業生も五期生までが社会の各方面で活躍しています。

マネジメント力と語学力の育成を特色としたリージョナル、グローバル、アグリ&フードの三つのマネジメント・コースを設けており、岡山商工会議所等地域と連携したPBL（課題解決型学修）プロジェクトを行い、課

題解決の方法を実践を通して学んでいます。具体的には、佐々木公之ゼミの「久米南町の地域活性化」の実践等、グループワークやフィールドワークを通して取り組んでいます。

六月には一年生を対象として、親睦を深め岡山県の産業について学ぶため一泊二日のオリエンテーション研修を実施しました。JFEスチール及び萩原工業の工場見学、テンプルマナー講習や懇親会を通して、同期生の団結を深めることができました。国際教養学部とのさらなる発展に向け、今後とも御支援の程よろしくお願いいたします。



大学院

現代生活学研究科

研究科長 赤木 収二

平素より、現代生活学研究科に対して、様々なご配慮を賜り、誠にありがとうございます。開設以来、本研究科を巣立った者は、現在、食・栄養に関わるさまざまな分野において本研究科で培われた高度な専門知識と実践能力を発揮し、社会において活躍中です。

現在、入学者充足は十分とはいえませんが、食・栄養に関する専門領域の指導ができる教員の陣容を揃え、きめ細かいサポートが行えるように努めております。昨年度修了生は、在学時の研究成果が学術集会で最優秀演題として表彰され、評価の高い英文雑誌にアクセプトされ、出版されました。現在の在学生も、進めてきた研究成果について今秋の国内学会総会にて発表を予定しております。

本研究科では、社会人の方の高度職業専門人としての学び直しに対しても、最大限のサポートを行う体制を整えております。卒業生

の方におかれても、ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

子ども学研究科

研究科長 佐々木弘記

子ども学研究科では、去る八月八日に修士論文中間発表会が開かれました。本年度末の修士論文完成へ向けて着実に研究が進んでいる様子でした。その後は、学部の三、四年生で大学院への進学を考えている学生を対象として「大学院生と語る会」が開かれ、和やかな雰囲気学部生と大学院生の間の交流が行われました。

本年度は三名の大学院生が在籍しています。その内二名が長期履修制度を利用しています。長期履修制度とは、二年分の授業料で二年間を超えてゆっくり、じっくりと最長四年間をかけて学べる制度です。後援会の皆様も、長期履修制度を使ってキャリアアップを図られてみてはいかがでしょうか。

一方、小学校のプログラミング教育を支援するため「プログラミング教育応援プロジェクト2」を実施しています。これはプログラミング教育用の教材を貸し出したり、指導法をお伝えしたりするものです。後援会の皆様の中で小学校にお勤めの方は、ぜひこのプロジェクトをご利用ください。

短大

総合生活学科

学科長 韓 在都

日頃より本学園に対するご理解とご協力を賜わり、誠にありがとうございます。

総合生活学科では、今年度五十名の新入生を迎えることができました。それぞれ個性豊かな学生が入学当時の緊張感もやわらぎ、今は新しい仲間とともに学校生活を楽しくしてい

ます。二年生は日々の学習に取り組みながら就職活動に励んでいます。様々な難関に立ち向かっている姿を見ると教員一同は責任感とともにうれしさも感じています。

今年度からリニューアルしたオープンキャンパスに多くの在学生が参加できる環境を整えました。参加者の皆様と積極的にコミュニケーションをとる体験をしています。授業だけでなく多くの体験を通して学び、学生が成長してくれるのを楽しみにしています。オープンキャンパスに参加された高校生や保護者様からの評判も良く、在学生のいきいきとした姿に感銘を受けたとの声も寄せられています。このような活動を通して私たち総合生活学科の「現代を生き抜く」という教育目標に近づけると信じております。

今後とも総合生活学科へのご指導、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

保育学科

学科長 土田 豊

保育学科は、一年生八十四名、二年生八十四名で新年度をスタートしました。

四月初、新しい環境での生活や学習に不安な表情を浮かべていた一年生も、すっかり保育を学ぶ大学生となり、ゴールデンウィークにはほとんどの学生が、保育現場でのボランティアに取り組みました。また、五年目を迎えた大学附属のたねのくにこども園との連携活動も盛んになり、七月の夏祭りには、一年生がボランティアとして参加し、自分たち



が考えたブースを運営したり、子どもたちのサポートをさせてもらったりと保育現場での経験を重ねることができました。

二年生は、期待と不安を抱えながら保育実習に取り組みました。大学の授業での学びを現場で確かめたり、自分がこれまで高めてきた保育スキルを実践したりしながら、貴重な学びを得ることができました。今回の実習での気づきを残りの学生生活で改善し、就職に向けて頑張ってくれることと思います。

後援会の皆様、今後ともご支援よろしくお願いいたします。

情報ビジネス学科

学科長 河田 健二

情報ビジネス学科では、今春五十三名の新入生を迎え、新たな年度がスタートしました。二年生合わせて九十七名の在籍者数となります。長らく続いたコロナ禍も「五類」への移行もあり、コロナ前に近い状況となり、学生も落ち着いた環境の中で勉学に励んでいます。

さて、情報ビジネス学科では今年、新たな取り組みとしてのXR（クロスリアリティ）の導入及び、就職サポート体制の強化に取り組んでいます。近年耳にする機会の多くなったXRですが、エンターテインメントの分野のみならず教育やビジネス、その他多くの分野でXR人材が求められています。また、就職サポートについては、年度初めのフレッシュヤーズセミナー時点から、各就活サイトへの登録を実施したり、就職支援委員の教員を中心としたより強固な支援体制を築き学生をサポートしています。

今後より良い学修体制を整え、しっかりと学生たちの成長を見守っていきたいと思っています。引き続き、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



	内 容	金 額
1	学生・教職員へ記念品の配付 創立60周年記念クリアフォルダ、名入れ多機能ボールペン	960,000円
2	各学部・学科の魅力発信動画の制作	800,000円
3	地域清掃活動 6月16日前後に1週間で庭瀬周辺の地域清掃活動を行った	50,000円
4	創立60周年記念シンポジウム 10月15日(土)開催	250,000円
5	ホームカミングデーの充実 10月15日、16日大学祭当日にOB・OGを招待	340,000円
6	創立60周年記念行事ソフトバレーボール大会 12月21日(水)開催	300,000円
7	記念事業として学生の要望を取り入れた学内環境整備 12号館1階ラウンジ、屋外用テーブル、椅子の設置他	12,300,000円

令和四年度に学校法人中国学園が創立六十周年を迎え、後援会はこのたび創立六十周年記念事業費として、令和四年五月に二七〇万円、令和四年十一月に一、二三〇万円の寄付を行いました。創立六十周年記念事業について実施計画中のものも含めてご報告させていただきます。

学校法人中国学園 創立六十周年記念事業について



優勝チーム 信じられる愛はあるんか
(子ども学部2年、国際教養学部2年混合チーム)



創立60周年記念行事 12月21日に開催した
ソフトバレーボール大会の様子



12号館ラウンジに
デジタルサイネージを設置



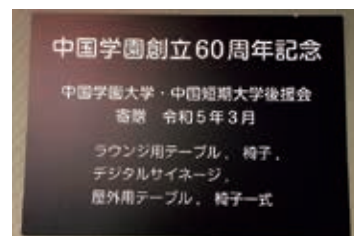
整備前



整備後

〈12号館1階ラウンジの整備〉

整備前にあった石のオブジェを取り除き、切り株の椅子は別の場所へ移動し、居心地のよいテーブルや椅子、ソロブースも完備し、学生が自由に勉強や談笑を楽しむスペースとして整備しました。後援会からの寄贈ということで、ラウンジに記念プレートを設置しました。



記念プレート



〈本館1階第1学生ホール前テラス〉
新しく屋外用テーブルと椅子を設置しました。



庭園にパラソル付きテーブルと椅子、
ベンチを追加しました。



中庭



1号館前に新しいテーブルと椅子を設置しました。



〈11号館パティオの整備〉
新しく屋外用テーブルと椅子を設置し、パティオの
壁を塗り替え、ベンチを修繕しました。

〈中庭通路のバリアフリー化〉
中庭の石畳の通路は歩きにくい
ため、石畳を撤去し、歩きやすく車
椅子も通行できるような通路に整
備しました。

〈防犯カメラの追加設置〉
現在南門と西門に向けて防犯カメ
ラを設置していますが、学生の安
心安全のため、さらに防犯カメラ
を追加設置する予定です。

就職支援センター（直通）

第1表

令和4年度 収支決算 (令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

(単位:円)

収 入 の 部					
費 目	予 算 額	流 用 額	決 算 額	差 異	備 考
繰越金	4,788,142		4,788,142	0	前年度会計から
入会費	1,980,000		1,980,000	0	6,000×330名 (入学者+3年次編入者)
受取利息	12,072,000		12,096,000	24,000	24,000×504名 (入学者+3年次編入者+大学3年+留年生1名)
	158		104	△54	預金利息
計	18,840,300		18,864,246	23,946	
支 出 の 部					
費 目	予 算 額	流 用 額	決 算 額	差 異	備 考
会議費	750,000		660,884	89,116	役員会3回 総会1会場 (岡山、福山地区合同で実施)
消耗品費	73,000		41,882	31,118	ファイル、ラベル用紙、封筒等
通信費	330,000		235,569	94,431	振込手数料、切手、葉書代、後援会だより発送代
会誌発行費	210,000		170,610	39,390	後援会だより第47号 1,400部等
助成費	16,559,230		14,994,448	1,564,782	*助成費の内訳
* 学生生活指導費	2,715,000	158,400	2,873,400	0	各学科学生生活指導費 2,500円×1,086名分 2,715,000円 物価高に対する経済的支援 158,400円
* 部活動等助成費	900,000		442,945	457,055	*コロナ対策費より流用 158,400円 大学祭援助金 200,000円、大学祭警備経費 230,945円
* 学生食堂助成費	900,000		822,465	77,535	学生健康サポート (朝食無料提供) 627,000円 学食利用補助等 175,500円
* 広報活動助成費	1,100,000		1,099,490	510	学生募集用 クリヤーホルダー名入れ 165,000円 多機能ペン600本 396,000円、オリジナルQUOカード500円 ×665枚 538,490円
* 就職支援助成費	700,000		330,798	369,202	就職ガイダンス参加日誌用ファイル (大学3年、短大1年) 64,617円 就職活動用 山羊革名刺入れ 1色名入れ300個 148,170円 就活本 118,011円
* 施設等助成費	5,000,000		5,000,000	0	プロジェクター更新等
* コロナ対策費	2,000,000	△158,400	1,187,500	654,100	新型コロナウイルス感染症対策助成事業 学生食堂・売店 で利用できる食券 (休学者を除く) 2,500円×950名分の半額 支援 1,187,500円
* 災害対策助成費	3,244,230		3,237,850	6,380	* 学生生活指導費へ流用158,400円 防災備蓄品 帰宅困難者支援セット3,190円×1,015個在学生 1年生～4年生分
予備費	918,070		0	918,070	
計	18,840,300		16,103,393	2,736,907	

* 助成費の内訳

収入額合計	18,864,246
支出額合計	16,103,393
収支差額 (次年度へ繰越額)	2,760,853

記念事業基金

収入の部

費 目	予算額	流用額	決算額	差 異	備 考
繰越金	15,000,000		15,000,000	0	前年度会計から

支出の部

費 目	予算額	流用額	決算額	差 異	備 考
創立60周年記念事業費	15,000,000		15,000,000	0	令和4年度学校法人中国学園創立60周年記念事業として15,000,000円の寄付 記念品配布、地域清掃、シンポジウム、ホームカミングデーの実施、動画制 作、ソフトバレーボール大会、学内環境整備として

保育学科長 土田 豊 総合生活学科長 韓 在都 短期大学部長 住野 好久 副学長 杉山 慎策 学長 千葉 喬三	中国短期大学 藤代 昇丈 国際教養学科長 杉山 慎策 国際教養学部長 中田 周作 子ども学部長 中 典子 子ども学研究科長 佐々木弘記 子ども学研究科長 井之川 仁 人間栄養学科長 多田 賢代 現代生活学部長 赤木 收二 現代生活学研究科長 住野 好久 副学長 杉山 慎策 学長 千葉 喬三	中国学園大学 稲葉 英男 監事 井上 悦雄 村上 在都 韓 俊二 阿藤 慎策 杉山 慎策 千葉 喬三 古矢 博通 中島 義雄	学校法人中国学園役員 理事 中島 義雄 副理事長 古矢 博通 理事 千葉 喬三 事務部長 阿藤 慎策 事務次長 片山 明浩 総務企画課長 藤原 浩一 教務部長 三宅美恵子 教務部長 (認証評価担当) 大橋美佐子	学校法人中国学園役員 情報ビジネス学科長 河田 健二 事務局長 阿藤 俊二 事務部長 (経理課長) 難波 宏明 事務次長 片山 明浩 総務企画課長 藤原 浩一 教務部長 三宅美恵子 教務部長 (認証評価担当) 大橋美佐子
園長 河原 智美 副園長 松本 理子 (令和5年7月1日現在)	たねのくにこども園 地域支援センター長 岸 誠一 情報教育センター長 杉山 慎策 語学教育センター長 小林 英紀 IRセンター長 古谷 俊爾 図書館長 松井 圭三 図書課長 齊藤 佳子 情報処理センター長 俊爾	教務課長 濱崎 美紀 学生部長 村松 敬生 学生課長 佐々木公之 入試広報部長 中塚 多聞 入試広報課長 新谷 貴子 就職支援部長 北島 葉子 就職支援課長 山口 裕行 就職支援課長 山根 康史 図書館長 板野 敬吾 図書課長 松井 圭三 情報処理センター長 俊爾	事務局長 阿藤 俊二 事務部長 (経理課長) 難波 宏明 事務次長 片山 明浩 総務企画課長 藤原 浩一 教務部長 三宅美恵子 教務部長 (認証評価担当) 大橋美佐子	事務局長 阿藤 俊二 事務部長 (経理課長) 難波 宏明 事務次長 片山 明浩 総務企画課長 藤原 浩一 教務部長 三宅美恵子 教務部長 (認証評価担当) 大橋美佐子

第2表

令和5年度 収支予算 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

収 入 の 部						
費 目			予 算 額		差 異	備 考
			令和5年度	令和4年度		
繰越金 会費 受取利息	金	2,760,853	4,788,142	△ 2,027,289	前年度会計から	
	金	1,848,000	1,980,000	△ 132,000	6,000×308名（新入学生+3年次編入生）	
	費	10,584,000	12,072,000	△ 1,488,000	24,000×308名（新入学生+3次編入生+大学3年生）	
	息	47	158	△ 111	預金利息	
計		15,192,900	18,840,300	△ 3,647,400		
支 出 の 部						
費 目			予 算 額		差 異	備 考
			令和5年度	令和4年度		
会 議 費		750,000	750,000	0	役員会 年3回（5月・10月・3月）、後援会カフェ運営費	
消 耗 品 費		73,000	73,000	0	総会1会場（保護者会岡山・福山地区合同）	
	通 信 費	330,000	330,000	0	ファイル、ラベル、封筒代等	
会 誌 発 行 費		210,000	210,000	0	総会案内発送、後援会だより発送、振込手数料、葉書、切手代	
助 成 費		12,212,000	15,415,000	△ 3,203,000	後援会だより発行	
* 学 生 生 活 指 導 費		2,530,000	2,715,000	△ 185,000	* 助成費の内訳	
* 部 活 動 等 助 成 費		900,000	900,000	0	各科 学生生活指導費 2,500円×1,012名	
* 学 生 食 堂 助 成 費		1,000,000	900,000	100,000	各種体育大会出場への援助、大学祭援助 等	
* 広 報 活 動 助 成 費		1,100,000	1,100,000	0	学生健康サポート（朝食無料提供）、学食利用補助等	
* 就 職 支 援 助 成 費		600,000	700,000	△ 100,000	学生募集 名入れグッズ作成	
* 施 設 等 助 成 費		5,000,000	5,000,000	0	就職支援助成	
* コ ロ ナ 対 策 費		0	2,000,000	△ 2,000,000	プロジェクター更新、学内整備等	
* 災 害 対 策 助 成 費		1,082,000	3,244,230	△ 2,162,230	0	
予 備 費		1,617,900	918,070	699,830	新入学生・新3年次編入生（308人）防災備蓄品 帰宅困難者支援セット（1日分）3,510円	
計		15,192,900	15,596,070	△ 403,170	慶弔費等	

* 助成費の内訳

大学祭へのご案内

2023年10月14日(土)、15日(日)の2日間、『Delight〜今この瞬間を〜』をメインテーマに、「制限が緩和された今、少し開放的になって精一杯、今この瞬間を楽しもう!」という意気込みで、中国学園大学祭「第58回白鷺祭」を開催いたします。

各サークルによるバンド、ダンスなどのパフォーマンスの披露や恒例企画のピンゴ大会、また、模擬店では、飲食の制限をなくし、学生による多くの食べ物や飲み物の販売が予定されています。

ゲスト企画としては、俳優の萩原利久さんのトークショーやお笑い芸人によるライブが開催され、大いに盛り上がりが見込まれます。

本年度の大学祭は、4年ぶりに制限のない開催となりますのでご都合が合いましたら、本学にお越しいただき、ぜひとも学生たちの頑張りを応援していただきたいと思います。

大学祭で『後援会カフェ』を出店します



今年度も大学祭に後援会役員による『後援会カフェ』を出店させていただきます。

飲み物はすべて無料で、ちょっとしたお菓子もお配りしています。大学祭へ足を運んでみませんか? 大学の様子を見ることが出来る絶好の機会です。

後援会活動の展示や行事などで撮影された動画も会場で上映します。

後援会カフェは10月15日(日)の1日のみ出店になります。時間は11時から15時までです。皆様のお越しをお待ちしています。

後援会総会でもお話をさせていただきましたが、本年度より教務システムを導入し、学生の皆様にとって充実した教育環境を整えることができました。教務システムでできる事は、それぞれの端末での履修登録が可能になりました。

後援会総会でもお話をさせていただきましたが、本年度より教務システムを導入し、学生の皆様にとって充実した教育環境を整えることができました。教務システムでできる事は、それぞれの端末での履修登録が可能になりました。

後援会総会でもお話をさせていただきましたが、本年度より教務システムを導入し、学生の皆様にとって充実した教育環境を整えることができました。教務システムでできる事は、それぞれの端末での履修登録が可能になりました。

後援会の皆様におかれましては、平素より本学の教育活動にご協力いただきまして大変感謝いたしております。新型コロナウイルス感染症も全国的に五類となり、本来の学生生活に戻ってきつつあります。しかしながら、いつ爆発的な感染がおきるかもわかりませんので、授業中の換気や机上の消毒等は引き続き実施しております。

後援会の皆様方には、平素より学生生活の充実に向けて多大なるご支援をいただきまして、深くお礼申し上げます。このたび創立六十周年記念事業で整備していただきました十二号館一階ラウンジ、十一号館前のパティオ、第一学生ホール前のテラス等は大変居心地の良い学生の憩いの場となっています。改めて感謝いたします。

学生部では、これからも学生生活の向上に向けて努力を続け、一層力強く学生たちの背中を押していきたいと思っております。後援会の皆様のご支援とご理解のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

教務部

info 事務局より

学修や行事、サークル活動を支援します!

した。また、各授業の出欠席の確認、今まで登録して行っていた成績発表も各自の端末で見えるようになりました。今後、教務システムでできることを増やし、より充実した学習環境にしていきたいと思っております。今後ともご協力をお願いいたします。

昨年から今年にかけて、新型コロナウイルスの「五類」移行にあわせて、本学でもマスクの着用が自己判断となったり、パーティーがなくなるといった様々な状況が変化いたしました。本年度前期においては、コロナ禍前の状況を取り戻し、新入生歓迎会、学生課オリエンテーション、学生支援セミナー、七夕祭が実施されました。また、後期には、学生のエネルギーを結集した大学祭が開催されます。

学生部

令和4年度事業報告

1. 総会及び学科別懇談会

開催日	地区別	会場	摘要
R4.6.25(土)	岡山・福山 地区合同	本学 (12号館)	【総会】予算、決算及び事業計画等協議、学部・学科情報、就職情報等 【学科別懇談会】総会終了後、学科ごとに保護者等の方と学部・学科長をはじめ教員との懇談

2. 会議等

会議名	開催日	会場	摘要
会計監査	R4.5.20(金) R4.5.23(月)	本学内	監事委員2名、会計監査の実施
第1回役員会	R4.5.28(土)	本学内	令和3年度事業及び決算協議 令和4年度事業計画案及び予算案協議
第2回役員会	R4.10.15(土) 13:00～ 14:00	本学内	予算中間報告及び事業計画の変更について、創立60周年記念事業について等検討
後援会模擬店 準備『後援会 カフェ』	R4.10.15(土) 14:00～		大学祭1日目役員会終了後『後援会カフェ』準備
後援会カフェ	R4.10.16(日)	本学内	大学祭2日目後援会模擬店『後援会カフェ』を出店
第3回役員会	R5.3.11(土)	本学内	令和4年度予算執行状況、令和4年度行事報告、次年度実施計画、朝食無料サポートについて協議等

3. 広報誌の発行

- (1)広報誌「後援会だより」第48号
体 裁：A4版8ページ カラー印刷
発行年月日 令和4年9月 発行部数：1,400部
配付先：全保護者・教職員・後援会役員等
- (2)後援会HPについて 令和4年9月、令和4年12月に後援会の活動について更新

4. 助成事業（主な事業）

- (1)学生生活指導助成事業 (5)広報活動助成事業
(2)部活動等助成事業 (6)施設等助成事業
(3)学生食堂助成事業 (7)新型コロナウイルス対策助成事業
(4)就職支援助成事業 (8)災害対策助成事業

令和5年度事業計画

1. 総会及び学科別懇談会

開催日	地区別	会場	摘要
R5.6.24(土) 10:30～ 14:00	岡山・福山 地区合同	本学 (12号館)	【総会】予算、決算及び事業計画等協議、学部・学科情報、就職情報等 【学科別懇談会】総会終了後、学科ごとに保護者等の方と学部・学科長をはじめ教員との懇談

2. 会議等

会議名	開催日	会場	摘要
会計監査	R5.6.10(土) R5.6.13(火)	本学内	監事委員2名、会計監査の実施
第1回役員会	R5.6.24(土) 9:00～ 10:00	本学内	令和4年度事業及び決算協議 令和5年度事業計画案及び予算案協議
第2回役員会	R5.10.14(土) 10:30～ 11:30	本学内	事業及び予算執行状況協議 就職情報と内定状況について 大学祭見学（後援会カフェ準備 後自由見学）
後援会模擬店 準備『後援会 カフェ』	R5.10.14(土) 11:00～		大学祭1日目役員会終了後 『後援会カフェ』準備
後援会カフェ	R5.10.15(日)	本学内	大学祭2日目後援会模擬店 『後援会カフェ』を出店
第3回役員会	R6.3.9(土)	本学内	決算見込報告

3. 広報誌の発行

- (1)広報誌「後援会だより」第49号
体 裁：A4版8ページ カラー印刷
発行年月日 令和5年9月 発行部数：1,200部
配付先：全保護者・教職員・後援会役員等
- (2)後援会HPについて 令和5年9月、令和5年12月に後援会の活動について更新

4. 助成事業（主な事業）

- (1)学生生活指導助成事業 (5)広報活動助成事業
(2)部活動等助成事業 (6)施設等助成事業
(3)学生食堂助成事業 (7)災害対策助成事業
(4)就職支援助成事業

総 会

後援会総会並びに 学科別懇談会を開催

今年度は、六月二十四日(土)に本学を会場として、総会並びに学科別懇談会を開催することができました。九十四名の保護者等が参加し、左記の議案について協議され、すべての議案は承認されました。

第一号議案 令和五年度役員選任について

第二号議案 令和四年度事業報告及び決算について

第三号議案 令和五年度事業計画案及び予算案について
大学の状況報告として、教務部からは今後の授業や試験等の日程について、学生部からは学生部関連の行事についてや奨学金等のご紹介をしました。

事務部からは、昨年度総会後の学科別懇談会場で質問のありました「朝食無料サポート」について回答させていただき、次年度も継続して支援していくことや、創立六十周年記念事業費として後援会からご寄付をいただき、どのようなことに使用したかをご報告させていただきました。この場をお借りして後援会への感謝状贈呈式を挙行させていただきました、代表で土谷会長に学長から感謝状を贈呈させていただきました。

就職支援部からは就職支援状況や求人状況、就職ガイダンスの状況、インターンシップの重要性や保護者等の皆様へのお願い等、保護者等の皆様は熱心に聞いてくださいました。

続いて各学部長・学科長より在学生の様子について、パワーポイントを使用して説明がありました。普段みていただくことができない、学生の授業風景、実習や演習、活動の様子を紹介することができました。

学科別懇談会

総会終了後は各学部学科へ分かれて移動し、学科別懇談会を開催いたしました。
保護者等の方と直接お話をさせていただき、学生の様子や、保護者等の方の要望などお聞きすることができ、非常に有意義な会となりました。後援会活動へいただいたご意見につきましては、今後の役員会で検討させていただきたいと思っております。この度、ご参加くださいました保護者等の皆様には、感謝を申し上げます。

